

第57回環境医学研究所・第48回研究推進委員会
合同セミナー

生体膜モデルとしての脂質二重膜 －分子の形と膜の機能－

大阪大学大学院理学研究科化学専攻
生体分子化学研究室 教授

村田 道雄先生

生体膜は一様な膜ではなく、部分によって固さが異なります。
脂質ラフトと呼ばれるマイクロドメインは、周囲の生体膜とは構成成分が異なり、従って独特の性質を示します。この脂質ラフトは、シグナル伝達や病原菌の感染など生理的に重要な働きを担っていますが、分子間の相互作用の詳細については未解明の点が多く残されています。
われわれはこの脂質ラフトにおける分子認識機構を原子レベルで解明するために、主要構成脂質であるスフィンゴミエリンおよびコレステロールの標識体を合成し、固体NMRなどの物理化学的な方法によって分子の形と運動性の解析を行っています。
セミナーでは、脂質二重膜が担う細胞膜の基本的な機能が、構成脂質分子の形や動きによって説明できるかどうかについて議論したいと思います。
多数の皆さま方のご来聴をお待ちしています。

日時：平成29年**10月25日(水)**18:00～19:30

会場：順天堂大学医学部附属浦安病院8階

環境医学研究所カンファレンスルーム

環境医学研究所

共催：順天堂大学大学院医学研究科

環境医学研究所HPに
簡単アクセス!!

